



東京言語研究所 開設 50 周年記念教育講演

ことばと教育

2020 年から小学校に導入される次期学習指導要領において、「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」が標榜され議論されているが、そこに言語学の専門家が十分に関与しているようには見えないと安西氏は述べている。前半は「ことばと教育」について安西氏にご講演いただき、後半は、参加者からの質疑応答および安西氏と大津氏の対談時間とし、皆様と共に「ことばと教育」についてより深く考えます。

<講師>安西祐一郎氏

(独立行政法人日本学術振興会理事長、元慶應義塾長)

<日時>2017 年 3 月 11 日(土)

14:00~17:00

定員
70名

<会場>東京言語研究所

(新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 13 階)

<参加費>一般 1,500 円 学生 1,000 円

*2016 年度理論言語学講座受講生は 500 円

※参加費は当日現金でお支払下さい。

プログラム (予定)

14:00- 安西氏講演会

15:30- 休憩

15:45-

質疑応答/安西氏、大津氏対談

司会:大津由紀雄氏

<申込み>ホームページ申込みフォームもしくはFAX(HPよりダウンロード)でお申し込みください。

①公開講座受講希望 ②氏名 ③フリガナ ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦ Eメールアドレス

⑧区分 (2016 年度理論言語学講座受講生・一般・学生) ⑨所属 (大学生・大学院生・教員・

会社員・その他) (上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません。)

問合せ先

公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420 FAX:03-5324-3427

ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

講演要旨
は裏面へ

【講義要旨】

日本の教育は今、受け身の教育から能動的な学習へ大きく転換しつつある。その中で「ことば」の役割が急浮上している。しかし、残念ながら、幕末以来ともいえるこの教育改革に対して、言語学の専門家が十分関与しているようには見えない。たとえば、言語の構造的側面をどう教育に反映すべきか、外国語の4技能は相互にどう関連しているのか、国語、英語、また他の言語の教育はどう関連しているのか、外国語の教育と外国語による教育はどう関係しているのか、言語学の成果を教育やテストにどう反映すべきか、国語や外国語の教師をどう育成すべきか等々、数多ある課題について、言語学者が参加した議論が十分に醸成されているようには思えない。

本講演では、この数年行われてきた教育改革・入試改革の議論を背景に、「ことばと教育」について、認知科学者としての演者が考えているところを端的に述べてみたい。その論点は以下の通りである：(1) インタラクションの理論と「ことば」の役割、(2) 「外国語」(とくに「英語」)が「できる」とはどういうことか、(3) 「ことばの力」とは何か、(4) 人間の言語処理と人工知能技術における自然言語処理はどこが違うのか、(5) 新しい教育や入試における国語、外国語の授業や問題はどうかあるべきか。

講師略歴



安西 祐一郎氏

独立行政法人日本学術振興会理事長

1974年慶應義塾大学大学院工学研究科修了。カーネギーメロン大学心理学科・コンピュータ科学科ポスドク、同心理学科客員助教授、北海道大学文学部行動科学科助教授などを経て、88年慶應義塾大学理工学部電気工学科(のち情報工学科)教授。その間エジンバラ大学人工知能学科客員研究員、マギル大学医学教育研究センター客員教授。93-2001年慶應義塾大学理工学部長、01-09年慶應義塾長、11年より現職。情報処理学会会長、日本認知科学会会長など歴任。認知科学・情報科学専攻。学習とインタラクション、特に Learning by doing (1976~)、Cognitive interaction (1985~)、Human-robot interaction (1991~) 研究のパイオニアとして知られる。著書 Learning and Interaction: Models of Cognitive Processes (Keio University Press, in press)、Pattern Recognition and Machine Learning (Academic Press, 1992) ほか多数。

司会略歴



大津 由紀雄氏

明海大学教授・慶應義塾大学名誉教授・東京言語研究所前運営委員長
言語の認知科学(生成文法・言語獲得・統語解析)。1981年マサチューセッツ工科大学(MIT)大学院博士課程言語学・哲学研究科修了、Ph.D.『言語の獲得と喪失』(共著、岩波書店、2005年)、『ことばに魅せられて 対話篇』(ひつじ書房、2008年)、『ことばの力を育む』(慶應義塾大学出版会、2008年)『はじめて学ぶ言語学---ことばの世界を探る 17章』(編著、ミネルヴァ書房、2009年)『佐藤学 内田伸子 大津由紀雄が語る ことばの学び、英語の学び』(ラボ教育センター、2011年)『「グローバル人材育成」の英語教育を問う』(ひつじ書房、2016年)ほか多数。